

【取扱説明書】

10.26インチ大画面 ポータブルディスプレイオーディオ
前後同時録画・ドライブレコーダー機能搭載

品番 PRD62



ご使用前に、「安全上のご注意」(P3-P5)を必ずお読みください。

この度はPORMIDO製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

- 説明書をよくご一読の上、正しくご使用下さい。
- 保証書は「ご注文番号」などの記入を確かめ、説明書とともにお手元に保管いただきますようお願い申し上げます。



目次

目次.....	2
安全上のご注意.....	3-5
本製品取り付けについて.....	6
製品について.....	7
製品の構成.....	7
製品仕様書.....	8-9
快適にお使いいただくために.....	9
各部の名称とはたらき.....	10
接続のしかた.....	11-12
設置と接続について.....	13
お願い.....	13
取り付け位置について.....	13-14
車に取り付ける配線イメージ.....	15
microSDカードの取扱い.....	16-17
反射防止フィルムの貼り方.....	17
基本操作と設定.....	18
初期起動時ユーザー設定.....	18
ダッシュボードの解説.....	19
コントロールセンターの解説.....	20
ドライブレコーダー機能について.....	21
ドライブレコーダー画面のについて.....	22
設定について.....	23-35
Apple Carplay&Android Auto接続.....	36
iPhone・Carplay ワイヤレス接続方法.....	37
Android・Android Auto ワイヤレス接続方法.....	38
Android・Android Auto 有線接続方法.....	39
Mirror Link接続.....	40
iPhone・AirPlay ワイヤレス接続方法.....	41
Android・Miracast ワイヤレス接続方法.....	42
Bluetooth接続.....	43-44
USB使用方法について.....	45
FM送信方法.....	45
録画ファイルの確認.....	46
本体で動画/画像の再生.....	46
再生画面の解説.....	47
パソコンで動画/画像ファイルの確認.....	48
録画ファイルの専用再生ソフト.....	49-50
故障かなと思ったら.....	51-56

安全上のご注意

スーパーキャパシタ内蔵電池について

危険

本体(内蔵電池)の取扱に注意する

本体はスーパーキャパシタ電池が内蔵しています。次のことを必ず守ってください。

- ・分解、改造しない
- ・加熱したり、火の中に入れてたりしない
- ・ダッシュボードなど直射日光の強いところや炎天下の車内など
異常に高温となる場所に放置しない

内蔵電源が発熱、破裂、発火、液漏れをし、火災やけがの原因となります。

直射日光の当たる場所に長時間、駐車する場合はサンシェード等ご利用下さい。

内蔵電池を廃棄するときの取り扱いに注意する

本体の内蔵電池を廃棄するときは、次のことを必ず守ってください。

- ・内蔵電池を加熱したり、分解、改造したり、火の中に入れてたりしない
- ・内蔵電池を火のそばや炎天下などに置かない
- ・内蔵電池のコネクタに絶縁テープをはる

発熱、破裂、発火、液漏れをし、火災やけが

安全上のご注意



- 本製品は、自動車の運転中に映像を録画します。
- 本製品は、事件や道路事故を調査するときの参考のために使用します。
- 本製品は、すべての出来事を録画することを保証するものではありません。
- 本製品は、衝撃センサー有効にできないような衝撃の小さな事故、または自動車のバッテリー電圧が無効になってしまうような衝撃の大きい事故は正しく録画することができない場合があります。
- 映像の録画は、本製品が完全に起動するまで開始しません。
すべての自動車事故を確実に記録するには、電源をオンにした後、本製品が完全に起動するのを待ってから自動車の運転をはじめてください。
- 当社は、事故の原因とした損害に対する責任や事故の結果に対してのサポート提供の責任を一切負いません。
- 本体を使用中での違反に関しては、一切の責任を負いかねます。
日頃からの安全運転をお心がけください。
- 本体を取り付けたことによる、車両や車載品の故障、事故などの追隨的損害について、弊社は一切の責任を負いません。
- 自然災害や火災、その他の事故、お客様の故意または過失、製品の改造などによって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本体の仕様及び外観、アイコン、表示名、表示の内容は、実際と異なったり改良のため予告なしに変更する場合があります。
- 本製品の取り付けによる車両の変色、変形等に関して当社では一切の責任を負いません。



液晶パネル部に関する注意

- 走行中は、必ず同乗者が操作を行うか、車両を停車してから操作を行ってください。
- 表示部を強く押ししたり、爪やボールペンなど先の尖ったもので操作をしないでください。表示部の故障や破損でケガの原因となります。
- サングラスを使用ときに、偏光特性により、表示が見えなくなってしまうことがあります。予めご了承ください。
- 周囲の温度が極端に高温になると表示部が黒くなる場合があります。これは液晶ディスプレイの特性であり故障ではありません。周囲の温度が動作温度範囲内になると、元の状態に戻ります。
- 液晶パネルは非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%の画素欠けや常時点灯する画素があります。予めご了承ください。
- 太陽などの高輝度の映像を記録すると、黒点のように映ることがありますが、故障ではありません。

撮影された映像について

- 本体は広角レンズを使用しているため、映像の一部に歪みや、影が生じることがあります。これは、広角レンズの特性であり、異常ではありません。

取扱説明書について

- 当社のサービスポリシーが更新された際に、取扱説明書の情報も変更される場合があります。
- 電子マニュアルはPORMIDO HP公式サイド(<https://pormido.co.jp>)で確認することができます。

本製品取り付けについて

■取り付けの前に、お車の状況を十分に確認する

本製品は、取り付け時や配線処理時に専門の知識や工具が必要になります。
また、取り付け状況やお車によっては製品本体や内装材の脱落、車両破損など生じる場合がありますので、取り付け前にお車の状況を十分にご確認いただき、取り付けの際にはご注意ください。

■取り付ける時には、必ず水平な場所を選び、サイドブレーキをかけ、エンジンを必ずオフにしてから行ってください

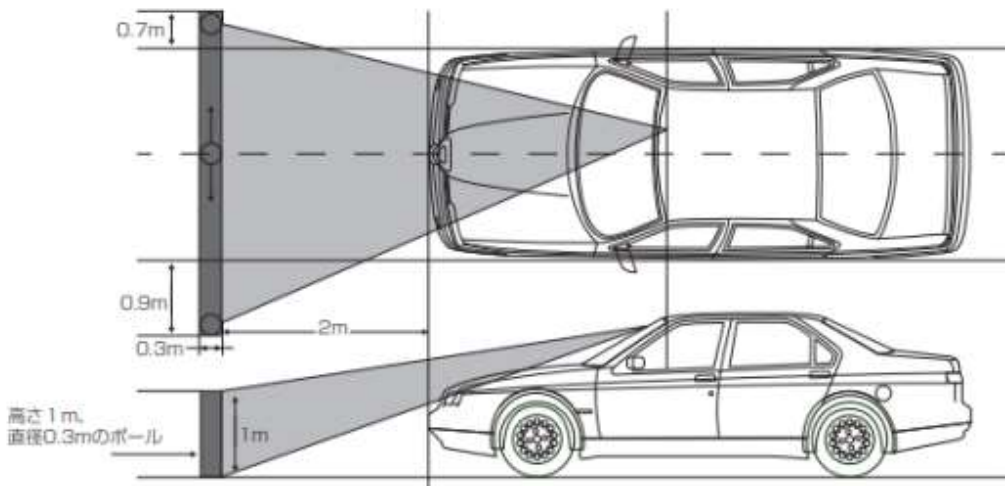
本製品をダッシュボード上など運転者の視界内に設置する場合は、下記を参照の上
保安基準に従って設置してください。保安基準に反する設置の場合、車検に通らない他、
視界不足による思わぬ事故に繋がる恐れがあります。

■前方視界に関して

運転者が通常の運転状態に置ける視点に置いて、下図のポールが直接確認できるように
取り付けてください。

▶ 運転視界基準エリア

高さ1m
直径0.3mのポール



製品について

製品の構成(取り付け前にご確認ください。)

お買い上げいただいた製品は下記セット内用です。設置、接続の前にご確認ください。()は個数です。万一、不足している場合、または破損している場合は、購入店までお問い合わせ下さい。

 ディスプレイユニット(1)	 フロントカメラ(1)	 リアカメラ(1)	
 リアカメラ取り付けキット(1)	 リアカメラ用配線6m(1)	 シガーソケット電源ケーブル(1)	
 AUXケーブル1.5m(1)	 ケーブル取り付けセット(1)	 反射防止フィルム(2)	 台座両面テープ(1)
 64GB マイクロSDカード(1) (本体に差込済)	 清潔布(1)	 マグネット式 ステッカー(1)	 取扱説明書(本冊子)(1) 保証書(1)

- 商品の仕様及び外観は、改良のため予告なく変更することがあります。
- この取扱説明書のイラストや画面はイメージであり、実際と異なる場合があります。

製品について

製品仕様書

ディスプレイ	10.26インチIPS液晶
ディスプレイの解像度	600(H)×1600(V)
表示輝度	500ccd/m2
本体外形寸法(取付部除く)	24.5cm×10.7cm×6.3cm
本体質量(本体)	ARM Cortex-A7@1GHz
RAM	2GB DDR3
システム	Linux
フロントカメラのF値	F1.8
リアカメラのF値	F2.0
カメラのフレームレート	<フロントカメラ>27.5fps
	<リカメラカメラ>30fps
録画解像度	<フロントカメラ>FHD1920x1080P
	<リカメラカメラ>FHD1920x1080P
保存録画ファイル形式	TS
保存写真ファイル形式	JPG
録画モード	ループ録画
メモリカード	USBデバイス(最大128GB Class10必須) 32GB・Class10・FAT32のTFカード推奨
取扱いできる 動画ファイル形式	H.264_1080P MP4/MOV/TS
取扱いできる オーディオファイル形式	MP3/WAV/AAC/OGG/APE/FLAC
録画音	ON/OFF選択可能
Gセンサー	オフ/Level1/Level2/Level3/Level4/Level5
駐車監視	駐車衝撃検知機能/タイムラプス機能 ※弊社販売品、専用監視電源ケーブルを 別途ご用意下さい。
ACC連動	サポート
Carplay	有線接続対応
Android Auto	有線・無線接続対応
Bluetooth	Bluetooth5.0 (音楽/電話通信対応)
オーディオ送信方法	車載Bluetooth/FM送信/AUX音声出力

製品について「続き」

バック連動	サポート
使用電圧	DC9～16V
使用電流	1A
消費電力	最大7.5W
リアカメラ防水仕様	IP68
動作温度範囲	-20℃ ～ +70℃
保存温度範囲	-30℃ ～ +80℃

快適にお使いいただくために

液晶パネルについて

- 本体及び液晶パネル表面が汚れたときは、柔らかい布で軽く拭き取ってください。
パネル表面は傷付きやすいので十分ご注意ください。
- 汚れがひどいときは、中性洗剤を水でうすめ、柔らかい布に含ませて固く絞ってから拭き取り、乾いた柔らかい布で仕上げ拭きして下さい。
- スプレー式洗剤などは使用しないでください。水分が内部に入ると本製品の故障の原因となります。
- 殺虫剤・ベンジン・シンナー等揮発性のものは付着させないでください。
変形・変色・故障の原因となります。
- 液晶パネル正面を直射日光に長時間さらさないようにご注意ください。故障の原因となります。

ディスプレイユニットの設置について

- マルディスプレイユニットは、カーナビゲーションのGPSアンテナやラジオのアンテナからできるだけ離して設置してください。

配線ユニットの設置について

- 走行中の振動や急ブレーキで移動しないよう、貼り付けテープ(市販品)などで固定してください。
- 次の箇所には、取り付けないでください。
水のかかるところ
足で踏まれるところ
ヒーターのダクトなど温風の近く
カーペットの下など熱がこもるところ

製品について

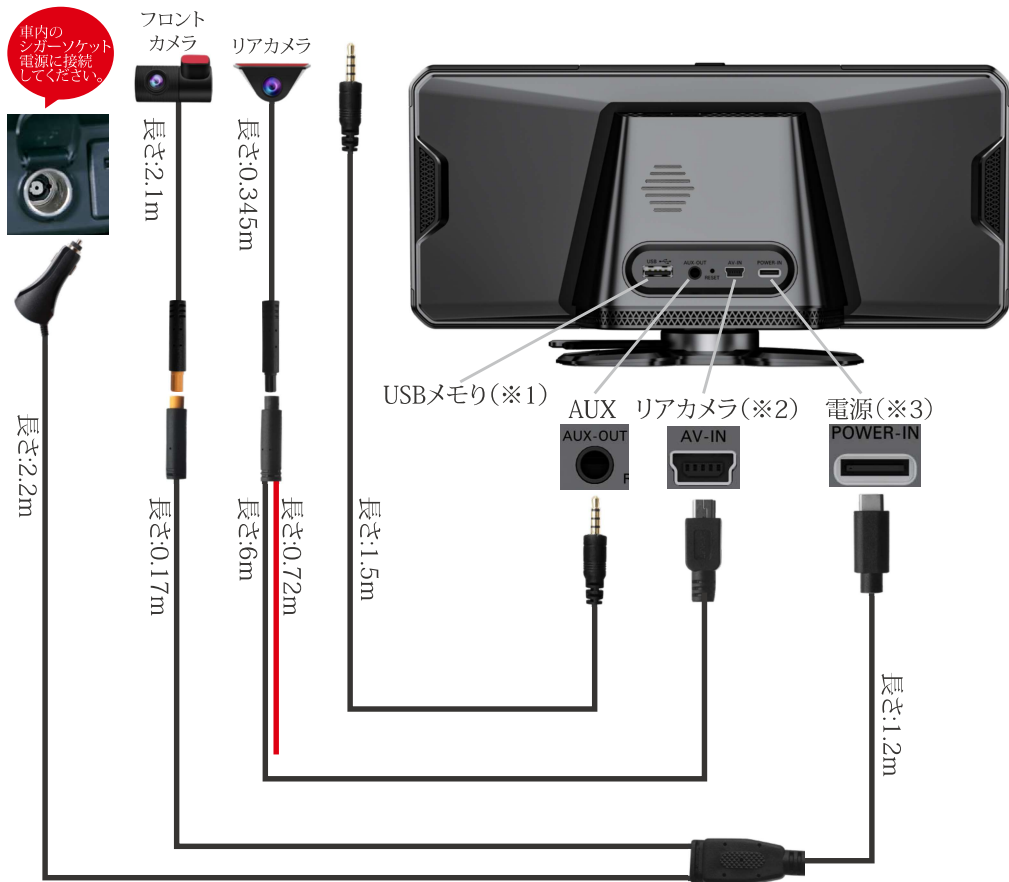
各部の名称とはたらき



製品について

接続のしかた

シガーソケット電源ケーブルの接続方法



※1:USBメモリ部品は付属品ではありません。別途ご用意ください。

USBメモリは最大128GBまで対応可能です。

※2:リアカメラコードの接続部分は防水ではありません。防水部分はリアカメラ金属部のみの為ご注意ください。

※3:電源は2つの方法から取ることが可能です。

(シガーソケットから電源を取る方法、駐車監視専用電源ケーブル(オプション)を利用し、ヒューズボックスから電源を取る方法。)

駐車監視専用電源ケーブルの接続方法は次のページをご覧ください。

製品について

駐車監視専用電源ケーブルの接続方法

駐車監視専用電源ケーブルは付属品ではありません。別途ご購入ください。



ご注意事項

- ※上記配線図3つの線は、しっかりとヒューズボックスまで接続してください。
- ※駐車監視専用線をヒューズボックスに取り付ける場合は、ギボシ端子と適合するヒューズパーツを別途にご用意ください。
- ※エレクトロタップ(配線コネクタ)を加工する事は改造は一切禁止しております。
- ※シガーソケットから電源を取っている場合、駐車監視機能、またはタイムラプス機能は作動しません。

設置と接続について

お願い

- 配線・取付/取り外しは専門技術者に依頼してください。
安全のため、お買い上げの販売店にご依頼ください。
- 正式に取り付ける前に仮止め、仮設置をし基本動作や配線が正常にできることを確認してください。
また、車の電装品が正常に動作することをご確認ください。

取り付け位置について

国土交通省の定める道路運送車両の保安基準の改正(平成17年1月1日)に伴い、下記の範囲内の視界を確保することが義務づけられました。
ダッシュボード上に機器(オンダッシュモニター、ポータブルカーナビゲーションなど)を取り付ける際は、運転者の視界を妨げないように取り付けてください。

■前方視界基準

- ①普通自動車(乗車定員11人以上のものを除く)
- ②車両総重量が3.5トン以下の貨物自動車

■基準概要

自動車の前方2mにある高さ1m、直径0.3mの円柱(6歳児を模したものを鏡など用いず直接視認できること

■モニター取り付け禁止事項

- 運転席の視界を妨げないこと。
- 助手席センターより235mm内側。
- 助手席のエアバックを妨げない。
- 取り付けモニターが斜線部にかからないこと。
- ※図は右ハンドル車の例です。左ハンドル車の場合には、左右逆になります。

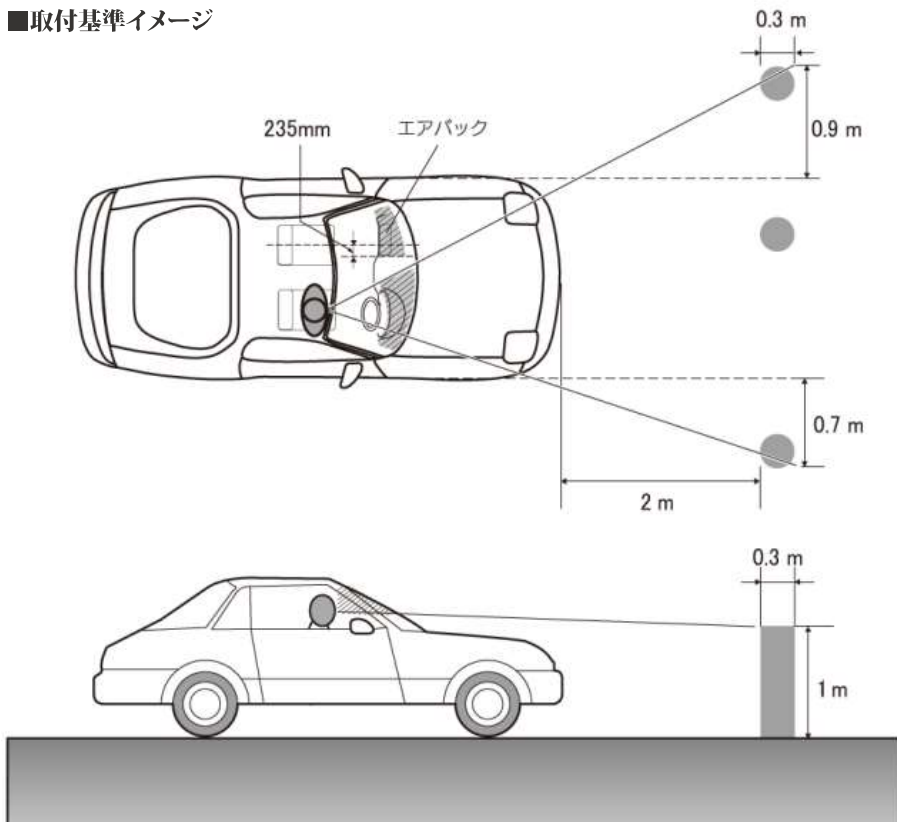
△ご注意

- ・取り付けが不十分であったり、ねじが緩んでいると落下する恐れがありますのでしっかりと固定してください。
- ・ディスプレイユニット接続ケーブルは、テレビやラジオ用アンテナケーブル、GPSアンテナケーブルと平行(密着)にして配線しないで下さい。
- ・ケーブルは踏まれたり、挟まれたりしないところを通しコードクランパーやテープ(市販品)などで固定して下さい。(座席のスライド、リクライニング、回転をさせてもケーブルが破損しないように配線を行い固定してください。)
- ・本機を断熱材などで覆わないでください。故障の原因となることがあります。

設置と接続について

取り付け位置

■ 取付基準イメージ



■ ダッシュボードなどに取り付ける

- (1) 角度、高さを調節し固定ネジを締めます。
- (2) 取付面のゴミ、汚れ、油など、綺麗に拭き取ってください。
- (3) ブラケットの両面テープはくり紙を剥がし、貼り付けてください。

上下調整

固定ネジ

360°回転可能

両面テープ

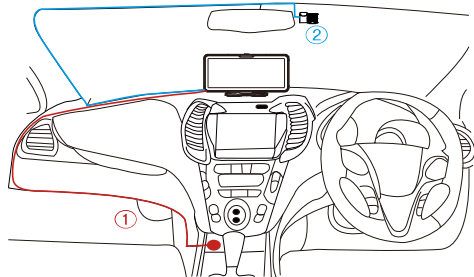


設置と接続について

車に取り付け配線イメージ

■天井裏やピラー内部を合わせてケーブル類を通します。

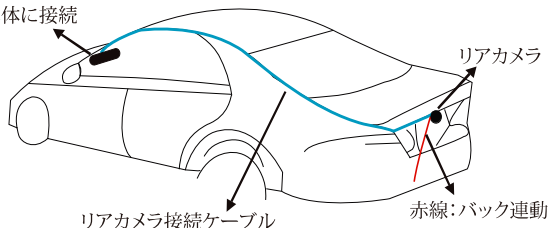
- ①シガーソケットを車の純正のDCソケットに差し込みます。
- ②フロントカメラを自由にフロントガラスに設置します。
(フロントカメラ部品は地デジアンテナ、ETCなど衛星通信機器から20cm以上離してお取付ください。)



- ③本体から伸びたリアカメラの接続ケーブルをピラー内部にあわせて配線を行い、リアカメラを取り付けます。

※リアカメラは車内・車外兼用型でお好みで設定場所をお決め下さい。

本体に接続



- ④赤線をバックランプのプラスヒューズに接続してください。
※赤線を接続すると、バックギアを入れるときにバックガイドラインが出ます。

赤線は接続なしでも通常の使用には影響しません。

※赤の線部分はバックランプヒューズまで通して下さい。

また、延長が必要な場合は、0.01mm～0.02mm程電線を加工して下さい。

リアカメラ車外取付時の注意事項

- ナンバー横の高さが低い車種に対して、リアカメラの取付ステーを増設してご利用ください。同時に、リアカメラレンズの撮影角度を上へ調整し適切な位置に設置してください。
- リアカメラのレンズ部分に塵土及び油垢などが付着すると、撮影効果に影響しますので定期的に清掃ください。

リアカメラ車内取付時の注意事項

- リアカメラのレンズ部分および両面テープが熱線と重ならない位置。
- リアカメラのレンズ部分に塵土および油垢などが付着すると、撮影効果に影響しますので定期的に清掃ください。

設置と接続について

microSD カードの取扱い

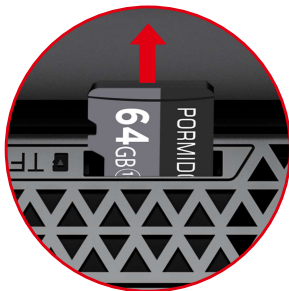
次の手順で本製品からのmicroカードの取り外し、または本製品へのmicroSDカードの挿入を行ってください。

■microSDカードを取り外す

本製品の電源がオフになっていることを確認します。

カチッという音が聞こえるまでmicroSDカードを押し込むと、メモリカードが飛び出します。

カードを本製品から取り外してください。



microSD カードを取り外す前に、必ず本製品の電源をオフにしてください。本製品の電源がオンの状態でmicroSD カードを取り外した場合、記録された映像のファイルが破損または消失することがあります。

■microSD カードを挿入する

microSDカードのプリントラベル面が本製品の画面の方向になるようにmicroSDカードをmicroSDカードスロットに挿入します。

カチッという音が聞こえるまでmicroSDカードを押し込んでください



- microSDカードを正しい向きにして、本製品に差し込んでください。microSD カードが正しく差し込まれていない場合、microSDカードスロットや microSDカードが損傷することがあります。
- 当社が認定した microSD カードのみを使用してください。当社認定以外の microSD カードの互換性や通常動作は保証しません。
- Class10 以上の microSDカードを使用してください。Class10 以下の microSDカードでは正常に作動しない場合があります。

設置と接続について

■microSDカードのフォーマット

microSDカードを Format することで、カード内のすべての記録を消去することができます。microSDカードのフォーマット設定は、23ページにご参考ください。

反射防止フィルムの貼り方

反射防止フィルムは2枚付属しています。1枚はアンチグレア仕様、1枚は光沢クリア仕様です。

△注意

フィルムを貼る際は、冷暖房機器のない場所で行って下さい。空気中の微塵土を吸着します。

△注意

反射防止フィルムの両面にはシートが付いています。貼り付けの際はシートを剥がしてご使用下さい。

- STEP1 風のない場所でフィルム貼りを行って下さい。
- STEP2 アルコール等で丁寧に汚れを拭き取って下さい。
(眼鏡用などのクロス等がお勧めです)
- STEP3 ミラーに付着物が見られる場合は、粘着の弱いテープで付着物を除去して下さい。
- STEP4 気泡が入った場合は、フィルムの端まで指で気泡を軽く押し出して下さい。
※エアレス加工により、気泡は時間の経過とともに目立たなくなります。

基本操作と設定

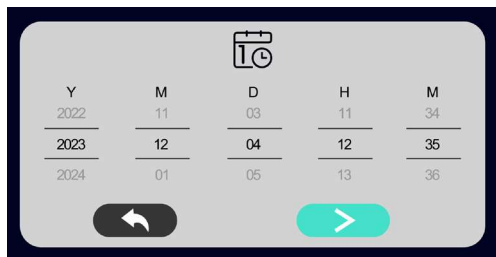
初回起動時のユーザー設定



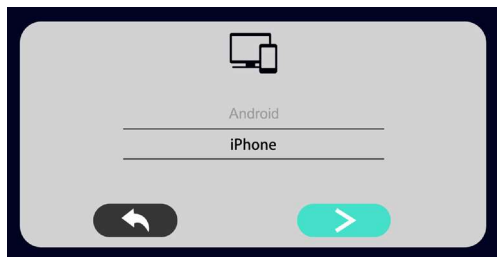
①言語を調整します。



②タイムゾーン「+9:00」を選択します。



③時間が合っているか確認します。



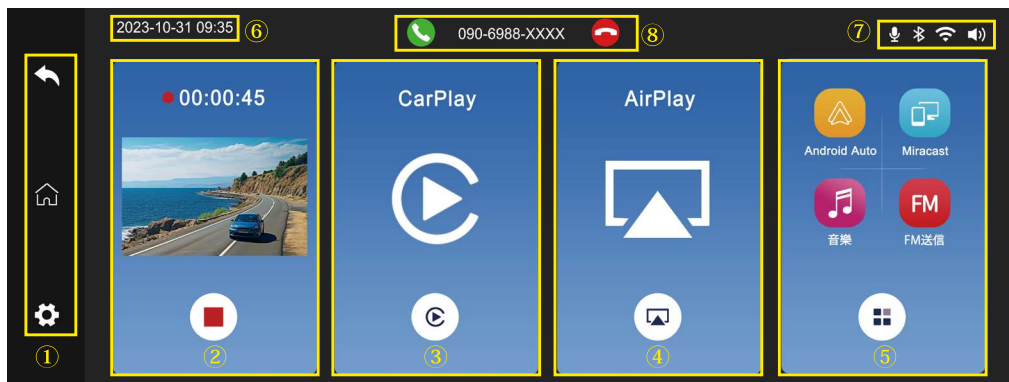
④ご利用中の携帯機種を確認します。



⑤適切な方を選択します。

基本操作と設定

ダッシュボードの解説



番号	ダッシュボード	説明
①	メニュー	上から順に戻る、ホーム、設定です。
②	ドライブレコーダー録画	小画面をタップすると、前後のカメラ映像切替を行えます。 小画面以外の部分をタップすると、録画カメラ映像をフル画面表示へ変更することができます。
③	Carplay	(変更可能 ※初回時の設定が反映されます)
④	AirPlay	(変更可能 ※初回時の設定が反映されます)
⑤	その他機能	AndroidAuto、Miracast、音楽、FM送信など…
⑥	日時表示	日時表示 期日と時間の表示です。
⑦	ステータスアイコン表示	音声、録画、接続のステータスを表示します。
⑧	電話着信	電話番号と通話/切断ボタンが表示されます。

基本操作と設定

コントロールセンターの解説

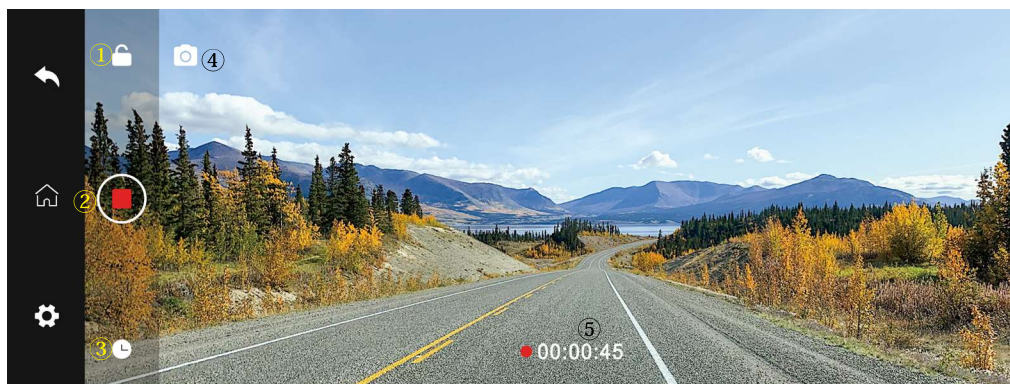


画面の上端から下にスワイプしてコントロールセンター画面を表示します。

番号	コントロールセンター	説明
①	Wi-Fi	1、Wi-Fi接続済/未接続を表示します。 2、短押しでWi-Fiを切断します。また、 長押しでWi-Fi設定画面を表示します。
②	Bluetooth	1、Bluetooth接続済/未接続を表示します。 2、短く押しでBluetoothを切断します。また、 長押しでBluetooth設定画面を表示します。
③	FM送信	1、FM送信接続済/未接続を表示します。 2、短押しでFM送信機能を切断します。 長押しでFM送信設定画面を表示します。
④	AUX出力	AUX出力オン/オフを表示します。 ◆出荷設定は「オフ」になっています。
⑤	録音	ドライブレコーダーの録音オン/オフを表示します。 ◆出荷設定は「オン」になっています。
⑥	本機の音量	左右にスワイプして音量の大小を調整できます。
⑦	通話音量	左右にスワイプして音量の大小を調整できます。
⑧	画面の明るさ	左右にスワイプして明るさを調整できます。

基本操作と設定

ドライブレコーダー機能について



番号	ドライブレコーダー画面	説明
①	ロックボタン	通常録画ファイルをロックします。
②	録画開始/停止ボタン	録画を開始/停止します。
③	録画再生ボタン	【録画ファイル確認・P45参照】をご覧ください。
④	撮影ボタン	静止画を撮影します。
⑤	録画時間表示	●は通常録画、●は緊急録画

基本操作と設定

ドライブレコーダー画面について



フロントカメラ画面

- ①左右にスワイプでリアカメラ画面と2分割画面の切り替えが行えます。



リアカメラ画面

- ①左右にスワイプで2分割画面とフロントカメラ画面の切り替えが行えます。
②右側を上下にスワイプすると画面の拡大、縮小が行えます。



前後2分割画面

- ①左右にスワイプしてフロントカメラ画面、リアカメラ画面の切り替えが行えます。

基本操作と設定

設定について

■ microSDカード容量

ご利用のマイクロSDカードの残りの容量を確認できます。

当画面の【フォーマットする】アイコンを押して、すべての録画ファイルを削除することができます。

※注意:新しいmicroSDカードを使用する際は、本機でフォーマットしてからご利用下さい。



microSDカード容量



microSDカード容量

残りの容量

28.1GB

●動画 0.2GB

●写真 600.0MB

●その他

容量 28.8GB

フォーマットする

■ ドライブレコーダー



ドライブレコーダー



ドライブレコーダー

ループ録画

1分

3分

5分

録音



Gセンサー



リアカメラ上下反転 (180°)



基本操作と設定

▶ ループ録画

1ファイルあたりの記録時間を「1分」「3分」「5分」から選択することができます。

↳ 初期設定「1分」

▶ 録音

録音機能のオン/オフを選択します。

↳ 初期設定「オン」

▶ Gセンサー

通常走行中の衝撃感度をlevel1からlevel5まで選択することができます。

Level1の感度が低、Level5の感度が高。

↳ 初期設定「Level3」

▶ リアカメラ上下反転(180°)

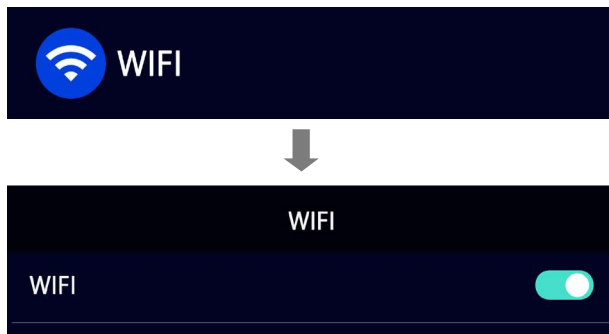
リアカメラの映像を上下逆に調整できます。

↳ 初期設定「オフ」

■ WIFI

本機のWi-Fiと接続することができます。

↳ 初期設定「オフ」

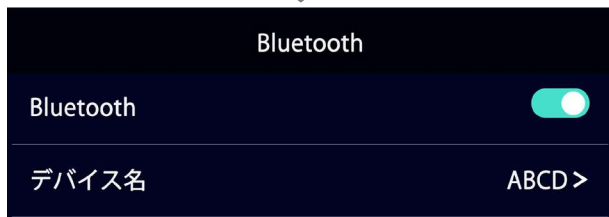


基本操作と設定

■ Bluetooth

本機のBluetoothと接続することができます。

↳ 初期設定「オフ」

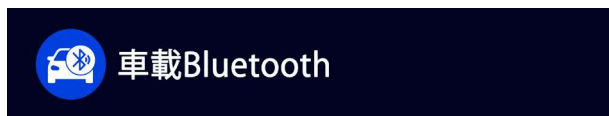


■ 車載Bluetooth

車載Bluetooth機能オン:本機と携帯を繋ぐ事で車内スピーカーから出力が行え音楽再生可能となります。

↳ 初期設定「オフ」

※注意:オンにする際、接続済みのBluetooth、Carplay、AndroidAutoは一時切断されます。切断後、再度自動検出を行い接続します。



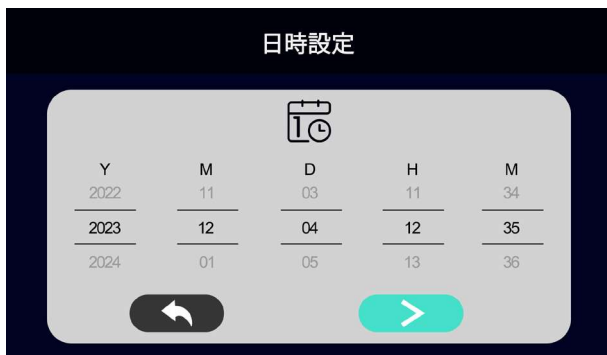
基本操作と設定

■ 日時



▶ 日時設定

手動で時間を設定することができます。



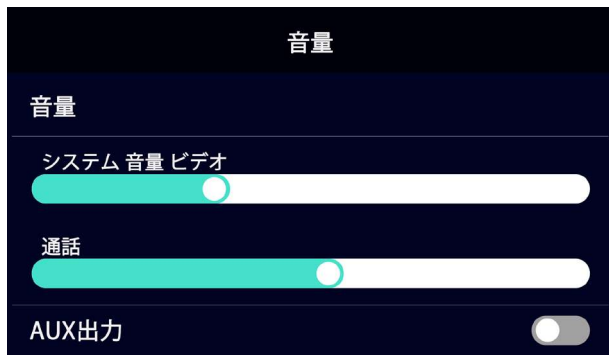
▶ 24時制

12/24時制をオン・オフで切り替えます。

👉 初期設定「オフ」

基本操作と設定

■ 音量



▶ 音量

本機の再生音量&通話の音量を調整できます。

▶ AUX出力

AUX出力をオンにする事で、本機の音声は車内スピーカーから出力できます。

⇨ 初期設定「オフ」

基本操作と設定

■ 画面表示と明るさ

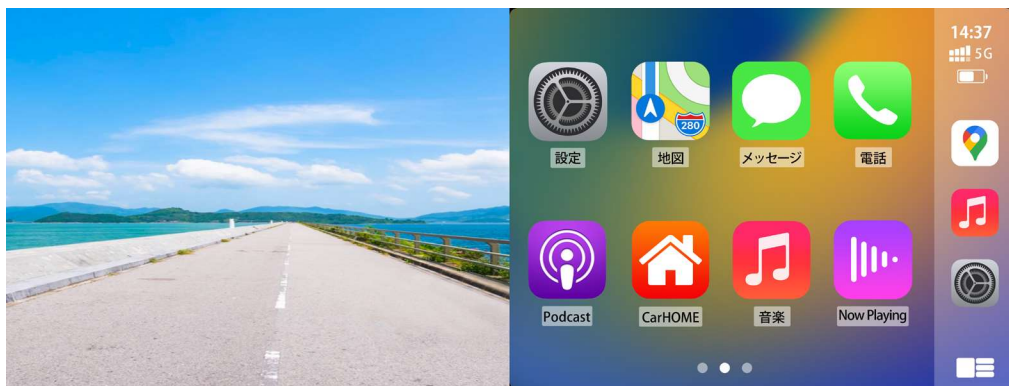


▶ CarPlay/Auto画面モード

モードをオンにすればCarplay/AndroidAutoの画面とドラレコの映像を2分割に表示されます。

👉 初期設定「オフ」

※注意: 運転ハンドルを右の方に選定したら、2分割画面の左側はドラレコ映像で、右側はCarplay画面です。



基本操作と設定

▶ 明るさ

本機の輝度を調整できます。

▶ 夜間モード

夜間モードをオンにする事で、設定時間帯とは異なったタイミングで明るさを変更できます。

⇨ 初期設定「オフ」

▶ スクリーンセーバー

スクリーンセーバーをオンにすれば画面の表示は消えます。

⇨ 初期設定「オフ」

※注意: スイッチボタンを押すと画面表示がされます。

なおスクリーンセーバーの際も録画機能は作動し続けます。

■ 言語

ほかの言語を調整できます。

⇨ 初回起動「選定画面」



基本操作と設定

■ 駐車監視モード

駐車監視機能は駐車中の周辺状況を記録できるものです。



当該機能を作動させる為には、専用駐車監視用の電源ケーブル(品番:PR09X)を別途ご用意ください。



駐車中の衝撃機能と駐車中のタイムラプス機能は同時作動できません。駐車監視機能機能を正常に作動させる為に2つの機能を同時には使用しないでください。



駐車監視モード



駐車監視モード

駐車監視



電圧収集

12.4V

低電圧保護閾値



衝撃センサー



タイムラプス録画

オフ 0.5S 1S 5S

タイムラプス録画時間

オフ 12時間 24時間 72時間

▶ 電圧収集

12.4V(リアタイムのアンペア数)

基本操作と設定

▶ 低電圧保護閾値

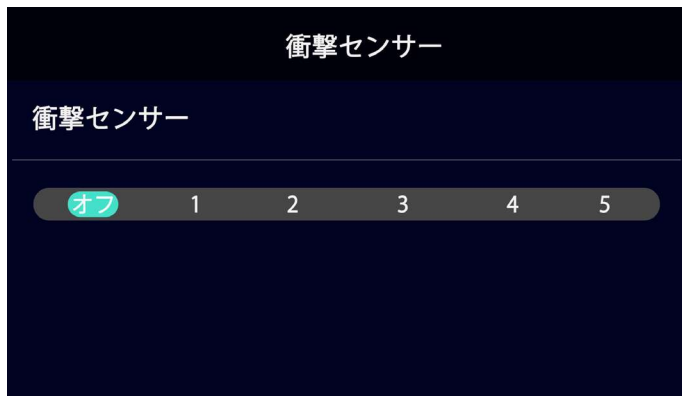
車種より低電圧保護の数値を選びます。駐車監視中に自動車の電圧が設定値より低下すると、駐車監視機能が切断されます。



▶ 衝撃センサー

駐車中に衝撃の検知感度を調節できます。
Level1の感度が低、Level5の感度高。

⇨ 初期設定「オフ」



基本操作と設定



駐車監視モード



駐車監視モード

駐車監視



電圧収集

12.4V

低電圧保護閾値



衝撃センサー



タイムラプス録画

オフ

0.5S

1S

5S

タイムラプス録画時間

オフ

12時間

24時間

72時間

▶ タイムラプス録画

1秒に1回程度、録画にコマ落としとして撮影する録画方式です。

⇨ 初期設定「オフ」

▶ タイムラプス録画時間

タイムラプス録画の時間を選びます。

⇨ 初期設定「オフ」

基本操作と設定

■ 運転モード

左右ハンドルの設定よりCarplay、AndroidAutoの縦出るメニューバーの位置を変更できます。
(例:右ハンドルに設定時はCarplay、AndroidAutoでメニューバーは右に表示されます。
左ハンドル設定時は左に表示されます。

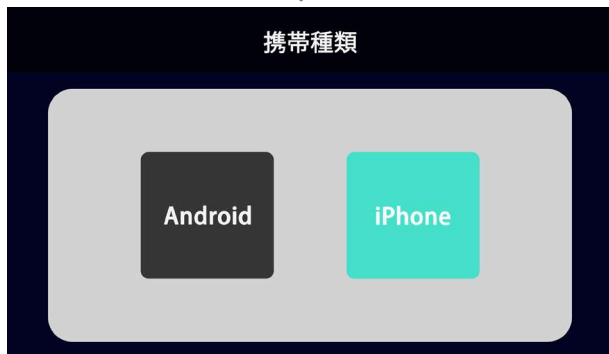
👉 初期設定: 選定画面



■ 携帯種類

ご使用のスマホ機種を選定してください。

👉 初期設定: 選定画面



基本操作と設定

■ バック連動モード



▶ 映像フォーマット

PAL:25fps ; NTSC:30fps

▶ バックガイドライン

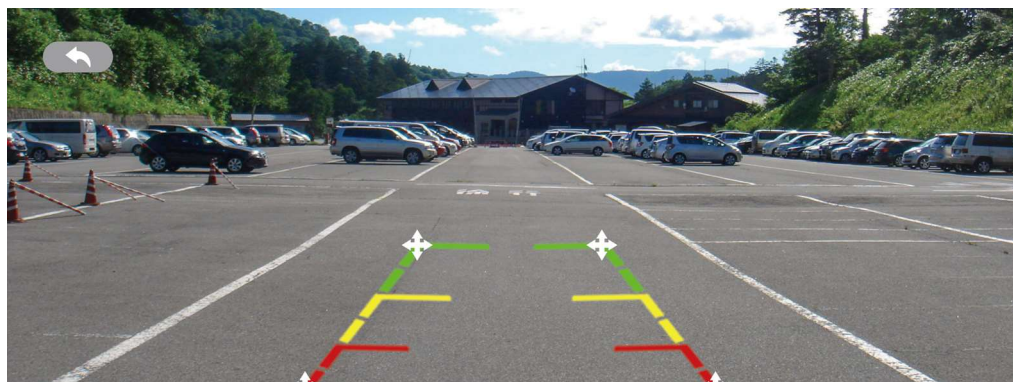
バックガイドライン機能をオン、バック連動線(赤線)はバックランプに接続、どちらも出来ている状態でバックの際にバックガイドラインが表示されます。

⇨ 初期設定:オン

▶ バックガイドライン調整

バック時は、バックガイドラインを調整できかねます。

バックガイドラインは事前に調整してください。



基本操作と設定

■ 初期化

すべての録画ファイルや設定を出荷状態に戻すことができます。



初期化

■ 製品情報

製品のバッジ番号の情報を確認できます。



製品情報

Apple Carplay&Android Auto接続

★接続時、ご注意事項

- ※1: 接続の案内指示に従いCarplay/Android Autoの画面が立ち上がらない状態で、
スマホのBluetooth接続した履歴をすべて消去してから、Bluetoothをオフオンにし
再試行してください。
- ※2: Carplayが接続できたら、Wi-FiとBluetoothはオフにしないでください。
どちらか一方をオフにすると、Carplayが途切れる恐れがあります。
- ※3: Android Auto搭載なしの携帯は、事前にAndroid Autoアプリをインストールしてください。
- ※4: Apple CarPlay/Android Autoを接続中に、別のApple CarPlay/Android Autoを使用
することはできません。
- ※5: Apple CarPlayを接続中の機器は、Bluetooth®機能が使用できません。
- ※6: Android Autoで接続中の機器は、ハンズフリー電話以外のBluetooth®機能が使用できません。
- ※7: CarplayとAndroidAuto接続している時、AirplayやMiracastのミラーリング機能を利用
できかねます。
- ※8: すべてのAndroid端末がワイヤレスAndroid Autoを利用できることを保証できかねます。
一部端末はバッジヨンや仕様の原因で、Android Autoを無線で接続できない恐れがあります。
- ※9: Android Autoのワイヤレス接続対応端末: バッジヨンAndroid11以降の携帯
Huawei携帯端末は互換性と安定性がよくないのため、AndroidAutoがワイヤレスで
対応できないことがあります。
- ※10: 別途にダウンロードしたAndroid Autoアプリは、ワイヤレス接続が安定できない
可能性があります。その時、有線に変換して接続してください。
もしくは、Android Autoのアプリを最新まで更新して、再接続を行って下さい。

Apple Carplay&Android Auto接続

iPhone・Carplay ワイヤレス接続方法

●Step1

iPhoneでWi-FiとBluetooth機能をオンにします。



●Step2

iPhoneのBluetooth設定画面からPORMIDO_PRD62_XXXXを見つけて繋ぎます。



●Step3

同期を許可します。



●Step4

最後、「カープレイを使う」をクリックします。



●Step5

5-10秒待った後、Carplay画面が立ち上がります。



Apple Carplay&Android Auto接続

Android・Android Auto ワイヤレス接続方法

●Step1

Androidスマホのバージョン11または最新まで更新してください。
ワイヤレスAndroid AutoはAndroid 11または以降のバージョンが対応できます。



<※Android Auto接続に関する注意事項がP36までご確認下さい。>

●Step2

AndroidスマホのBluetooth機能をオンにします。



●Step3

スマートフォンのBluetooth設定画面からPORMIDO_PRD62_XXXXを見つけて繋がります。

新しい機器とペア設定する

機器名
Xperia Ace III

使用可能なデバイス

Bluetooth PORMIDO_PRD62_XXXX

●Step4

提示メッセージに従って許可をクリックします。
ペアを同意にします。

[PORMIDO_PRD62_XXXX]

とペア設定しますか？

Bluetoothペア設定コード

233669

自分の連絡先や通話履歴へのアクセスを許可する

キャンセル ペア設定する

●Step5

スマホのWi-Fiも「PORMIDO__PRD62_XXXX」と接続します。
※注意:通常、Wi-Fiと接続して暗証番号の入力が不要です。

Wi-Fiの暗証番号:「12345678」です。

インターネット

Wi-Fi

Wi-Fi ネットワークを探して自動で接続

PORMIDO_PRD62_XXXX

デバイスに接続されました。インターネットにアクセスできません。

●Step6

5-10秒後、Android Auto画面が立ち上がります。



Apple Carplay&Android Auto接続

Android・Android Auto 有線接続方法

●Step1

データ伝送対策のスマートフォン専用電源ケーブルをご用意ください。

●Step2

スマートフォンと本機を接続して、AndroidAutoのボタンを押します。

●Step3

AndroidAuto画面は自動で立ち上がります。



Mirror Link接続

★接続時、ご注意事項:

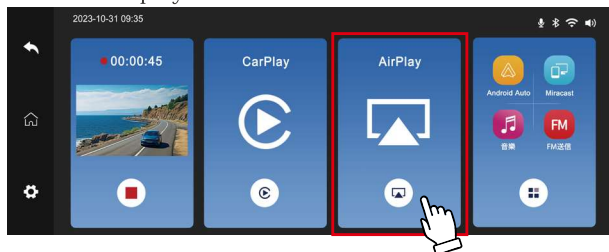
- ※1:iPhoneミラーリングするように、スマホと本機を同一のWi-Fiデバイスを接続にしてください。
- ※2:Androidミラーリングするように、スマホと本機を同一のWi-Fiデバイスを接続することだけでなく、携帯を本機とBluetoothでしっかり接続してください。
- ※3:ネット通信信号の強さより、画面や音声の遅延と感じる時がございますが、故障ではございません。
- ※4:一部のビデオアプリは、AirPlayに対応していません。ビデオアプリでAirPlayを使えない場合は、Apple TV上のApp Storeで、同じアプリのApple TV版が提供されていないかご確認ください。
- ※5:Androidスマホの中に一部機種はミラーリングをサポートできないのでご了承ください。
- ※6:一部Androidスマホの端末はChormeCast機能が搭載している時、本機と接続してミラーリング機能ができません。
- ※7:Hulu、Netflix、ディズニープラス、Amazon Prime Videoなどのアプリは著作権により、ミラーリングできません。

Mirror Link接続

iPhone・AirPlay ワイヤレス接続方法

●Step1

本機のAirplayアプリを開いてください。



●Step2

iPhoneの「設定」>「Wi-Fi」>をオンにします。



●Step3

iPhoneのWi-Fi項目
「PORMIDO__PRD62」のデバイスを見つけて接続します。
※注意:初めて接続する際には暗証番号を記入する必要があります。
「PORMIDO__PRD62」の接続履歴を削除されたら、Wi-Fiの暗証番号「12345678」を入力してください。



●Step4

iPhone画面の右上隅から下にスワイプします。
「画面ミラーリング」ボタンをタップします。



●Step5

リストから「PORMIDO__PRD62」名称付のデバイスを選択します。

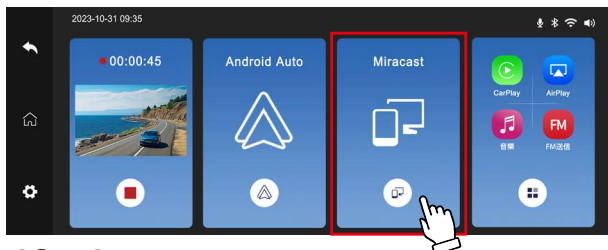


Mirror Link接続

Android・Miracast ワイヤレス接続方法

●Step1

本機のMiracastアプリを開いてください。



●Step2

Androidスマホの「設定」>「Wi-Fi」>オンにします。



●Step3

Androidスマホのクイック設定パネル上に「画面のキャスト」をタップし、「PORMIDO_PRD62」名称付のデバイスをミラーリングしましょう。

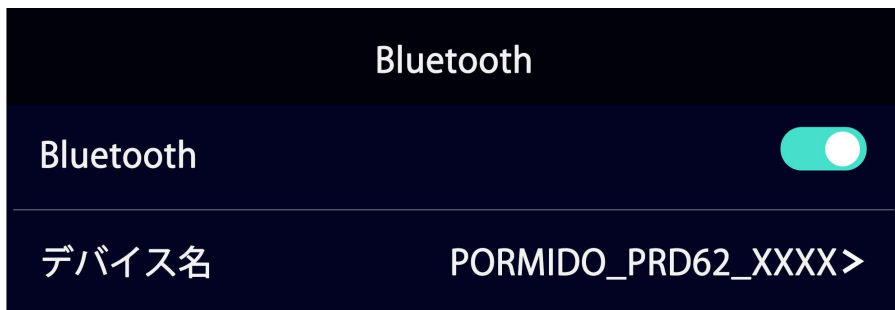


Bluetooth接続

iPhone・Android Bluetooth接続方法

●Step1

本機のBluetooth機能を「オン」にします。



●Step2

スマートフォンのBluetooth機能も「オン」にします。



Bluetooth接続

●Step3

スマートフォンのBluetooth設定一覧から接続(ペアリング)をするBluetooth機器を選択します。



●Step4

名称:「PORMIDO_PRD62_XXXX」のデバイスとペアリングします。



●Step5

Bluetooth接続欄に接続済みの機器:「スマホのBluetoothデバイス名称」が表示されたら設定完了。



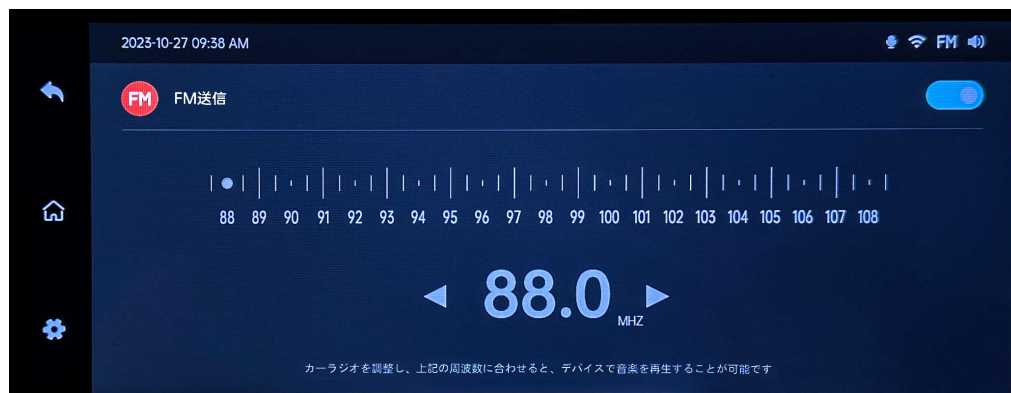
USB使用方法について

接続時は、次の点にご注意ください。

- すべてのUSBメモリとの接続を保証するものではありません。
- 本体は最大128GBのUSBメモリまで認識できます。128GB以上超えると、正常に動作しない可能性がありますのでご了承ください。

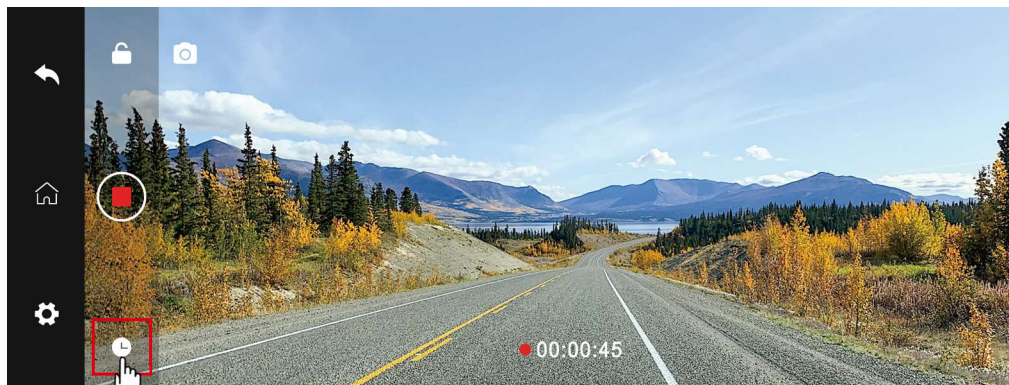
FM送信方法

本機で設定したFM周波数を自動車のFM周波数と合わす事で、本機の音楽を車のFMラジオで流して聴くことができます。

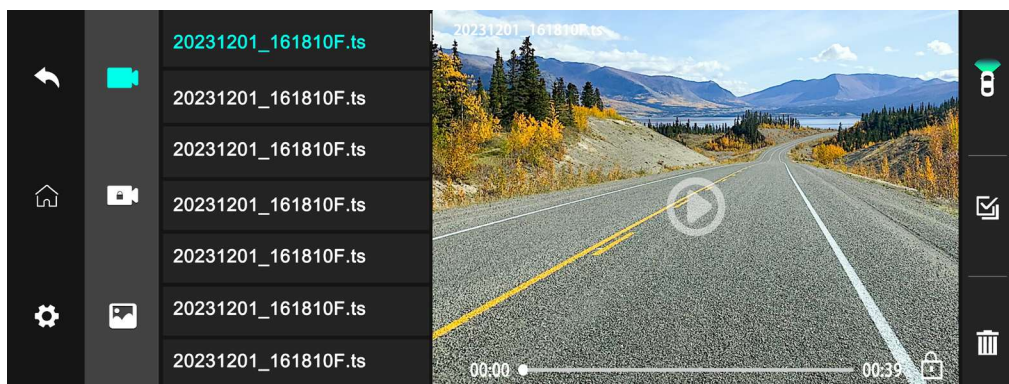


録画ファイルの確認

本体で動画/画像の再生



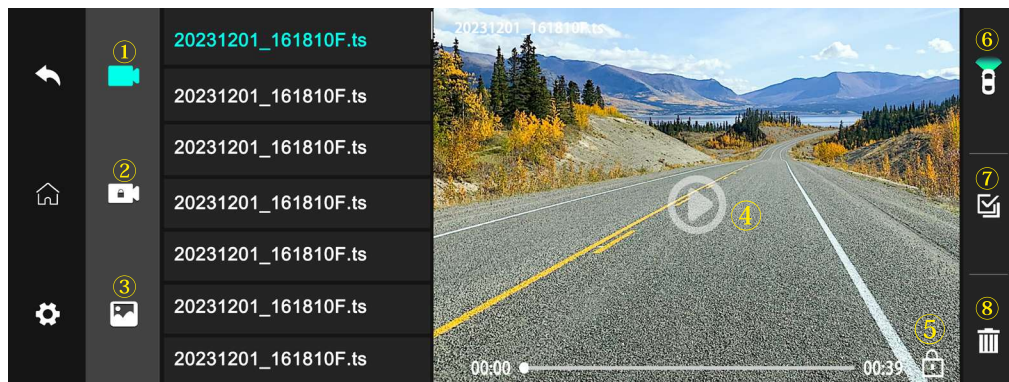
録画ファイル確認



再生表示画面

録画ファイルの確認

再生画面の解説





番号	項目	説明
①	常時録画	通常録画ファイル・タイムラプス録画ファイルがここに保存されます。
②	緊急録画	衝撃またはロックされた録画ファイルはここに保存されます。
③	画像	写真はここに保存されます。
④	再生アイコン	録画は自動的に再生しない為、手動でファイルを再生してください。
⑤	ロックアイコン	消去を避けたい重要なデータをロックアイコンを押すことで保護します。
⑥	前後カメラの録画ファイル・切替アイコン	フロントカメラとバックカメラの録画映像は別ファイルに保存されています。切替ボタンで確認する事ができます。
⑦	複数選択アイコン	複数のファイルが同時に選択できます。
⑧	削除アイコン	録画データを選択して削除アイコン(短押し)でデリートします。

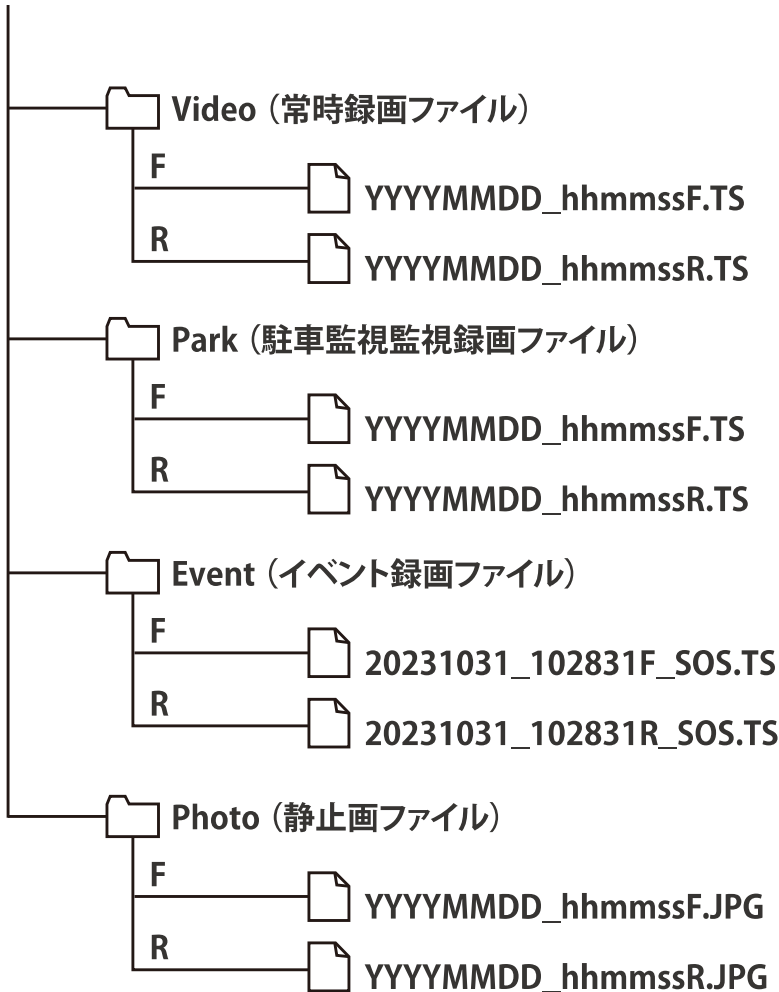
録画ファイルの確認

パソコンで動画/画像ファイルの確認

録画済みのUSBデバイスをパソコンに読み込むと、「Video」「Park」「Event」「Photo」のファイルがあります。

ROOT

 フォルダー  ファイル



(カメラ種別): フロントカメラ「F」、リアカメラ「R」

YYYYMMDD (年月日): YYYY (年)/MM (月)/DD (日)

hhmmss (時分秒): hh (時)/mm (分)/ss (秒)

※パソコンのOS等により表示が異なる場合もあります。

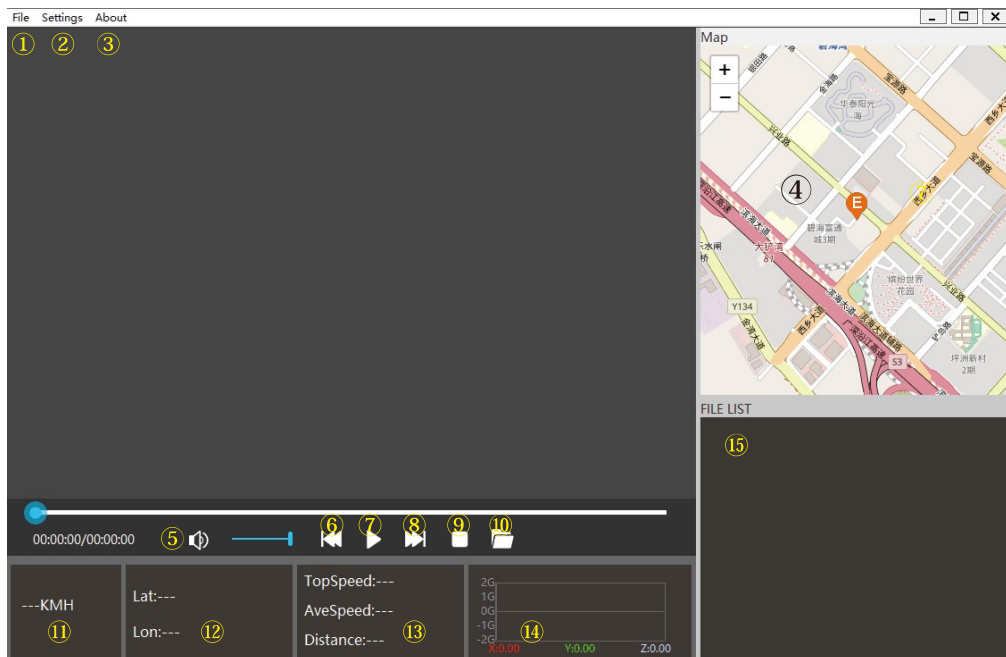
録画ファイルの確認

録画ファイルの専用再生ソフト

●アプリ: CAR DVR PLAYER

ファイル再生ソフト「CAR DVR PLAYER」を使用することでGoogle Mapなど連動して録画再生できます。「いつ」「どこ」「どのぐらいの速度」など様々な走行データを確認することが出来ます。初回使用時にファイル再生ソフト「CAR DVR PLAYER」をインストールしてください。

ご利用前の注意点:本製品はGPS内蔵では内為、GPS方位・走行軌跡は一切、再生アプリに表示・記録されません。予めご了承ください。



番号	項目	説明
①	ファイル	再生ファイルを開く、または再生ソフトを終了します。
②	設定	言語調整&速度の単位&MAP仕様の変更の調整ができます。
③	バッジヨン	再生ソフトのバッジヨン情報。
④	Map	GPS受信ポイントが確認できます。
⑤	音量調整	再生映像の音量を調整します。
⑥	前のファイルへ	プレイリストで選択されている前のファイルを再生します。

録画ファイルの確認

番号	項目	説明
⑦	再生/停止ボタン	再生と一時停止します。
⑧	次のファイルへ	プレイリストで選択されている次のファイルを再生します。
⑨	もう一度みる	動画を再度再生させます。
⑩	映像選択	再生する録画ファイルを選択できます。
⑪	速度	走行中の速度を表示します。
⑫	方角情報	走行中の方角情報を表示します。
⑬	加速センサー	車の前進する加速値を表示します。
⑭	G-Force	前後左右上下の振動を表示します。
⑮	再生リスト	再生リストにファイル一覧が表示されます。



ご注意

「CAR DVR PLAYER」の再生ソフトは、本製品の販売ページのリンクが最新ソフトです。もしくは、ご購入店舗の担当様にお問合わせてください。

故障かなと思ったら

修理を依頼される前に下記の「症状による確認項目」を点検してください。

■症状による確認項目

症状	下記をご確認下さい。
電源がいらぬ	電源ケーブル接続のコネクターは完全に接続されているかご確認ください。
	シガーソケットは完全にシガーの穴までしっかり接続されていますか？
	ヒューズボックスから電源を取る場合、+12V ACC(赤線)、常時(黄線)、アース(黒線)は正しく接続されますか？
	他の電装機器を利用している場合、シガーソケット電源ケーブルだけ利用し点検、確認して下さい。
電源が入っている、オンできない	シガーソケット電源が入っていることを確認後、リセットを行ってください。また、車内の温度を確認してください。温度が高すぎる場合、作動できない場合もあります。
前後カメラ映像の色が青っぽい	フロントガラスはブルーぼかし付きの仕様ではありませんか？
	青い保護フィルムは取り外しましたか？
	センサーの動作機能の感光度が原因で発生する可能性があります。明るい場所から暗い場所への移動を行う、または光の反射を受ける、もしくは光不足の場合等の理由でセンサーWDR機能が働き青っぽくなる状況が発生する恐れがあります。(通常は数秒以内に正常画面に戻ります。)
録画できない、録画を開始するとすぐに停止する	USBメモリが挿入されていることをご確認ください。USBメモリの容量をご確認ください。
	通常は日時が古いデータから上書きされますが、保護ロックファイルは上書きされないため、保護ロックを解除を先に行ってください。重要なファイルは削除を行う前に、バックアップを行ってください。
再生画面が映ってから、何も操作できない	USBメモリが入っていない、またはUSBメモリに録画ファイルがない場合は再生画面に入ってからでも操作できかねます。この症状が出る場合は、電源をオフにして再起動して下さい。
画面がフリーズする、何も操作できない	リセットボタンを押して、システムを再起動してください。

故障かなと思ったら

症状	下記をご確認下さい。
リアカメラが映し出されない	各配線のコネクター接合部が完全に正しく接続されているかご確認ください。
本体が熱くなる	本製品の動作中、本体表面が熱くなりますが異常ではありません。
事故の衝撃映像が保存されていない	事故時の衝撃によっては、衝撃録画されない場合があります。念のためスイッチ操作での録画を行うことをお勧めします。
記録した映像は、事故の証拠として認められているか	事故発生時の参考資料として使用することを目的とした製品です。完全な証拠としての効力を保証するものではありません。
microSDカードに録画データが保存されていない	microSDカードに保存されたデータは永久ではありません。物理的刺激等によりデータ破損する可能性もあります。また、長時間利用したSDカードはデータ保管能力も失われます。経年劣化の可能性もあります。
microSDカードが開始/停止の繰り返しになって録画がされない	ご利用中のmicroSDカードを付属部品で差し替えてご確認ください。
	利用中のmicroSDカードの仕様がclass10ではないまたは、ギガ数が258GB以上など大容量の場合不安定になる場合があります。その場合は128GB以降のmicroSDカードをご使用下さい。
microSDカードの容量がすぐに一杯になってしまう	Gセンサーの感度が強すぎる場合、少しの振動でファイルがロックされてしまう場合があります。そうなった場合、ロックされたファイルが溜まってしまい容量不足を招きます。設定メニューからGセンサーの感度を調整を行って下さい。

故障かなと思ったら

症状	下記をご確認下さい。
起動しなくなったり、 動作が不安定になる	各接続した部品(前後カメラ)を別に外して 各々の動作を再度ご確認ください。
	付属品以外の電源ケーブルを使用しているかご確認ください。
	駐車監視用電源ケーブルをヒューズボックス以外の 場所に接続した場合、接続場所を変えて下さい。
駐車監視録画モードが すぐに切れてしまう	車両バッテリーの充電状況により、 作動時間が左右されますので、 お客様の使用状況確認と共に、 バッテリー電圧の確認をしてください。 目安として、毎日片道30分以上連続して朝、夕運転している場合は 充電状況は良好な為駐車監視モードの使用が可能です。 毎日の運転でも短時間(数分・数十分)の場合は充電状況は 良好ではありません。 ご使用のお車により、駐車監視スイッチのオン・オフが 必要になります。 また、駐車監視を時間設定された場合も、電源遮断電圧が 優先されます。
駐車監視録画モードに 移行しない	駐車監視スイッチがONになっているかをご確認下さい。 バッテリーの電圧チェックを行って下さい。
	常時電源とACC電源の取出しの電圧チェックを行ってください。
	シガー電源ケーブル使用の場合は 駐車監視録画機能は使用できません。

故障かなと思ったら

<p>症状</p>	<p>下記をご確認下さい。</p>
<p>猛暑日に「高温動作状態のため、液晶タッチパネルをOFFにしました」とガイダンスされ、タッチパネルが反応しなくなった</p>	<p>スマートレコの本体温度の仕様として本体温度が80℃以上になると、タッチパネル保護のため消灯します。タッチパネルは反応しませんが、録画は継続されています。本体温度が70℃以下の状態が1分持続すると、タッチパネルは復帰して操作可能になります。</p> <p>スマートレコの本体温度の仕様(駐車監視録画モード)。</p> <p>本体温度80℃以上が5分継続した場合、駐車監視録画モードが遮断されます。高温遮断後は、本体温度が70℃以下になると、駐車監視録画が復帰します。</p> <p>※通常、車内温度が80℃を超える状態で人が乗っているケースは考えられない為、駐車監視録画モードとしての動作になります。</p>
<p>猛暑日等の理由によりSDカードが高温な状況下のおかれた場合サンシェード等は必要か</p>	<p>スマートレコ本体及び、SDカードの耐熱性は80°程度です。取扱説明書及びチラシやWebサイトに掲載されている「-20℃～70℃」というのは、動作保証温度とお考えください。70℃を超える状態を維持すると、本体から発する熱も相まって高温になってしまう為、駐車監視録画機能が遮断する仕組みになっております。サンシェードやボディカバーは車内の気温を下げますが、スマートレコを目隠してしまうことになる為、そのままご使用ください。</p> <p>ただし、熱により「映像が極端に粗い。」 「映像が見られない。または、記録されていない。」 「GPSを受信しない。」など、動作に支障をきたす場合は、本体電源をOFFにする、またはDC(電源)ケーブルを外し、温度が下がってからご使用ください。</p>
<p>高い頻度でイベント録画になってしまいます。設定方法を教えてください</p>	<p>本体を固定しているステーにぐらつきがある場合は、両面テープの固定もしくは、取り付けブラケットの緩みを調整してください。</p> <p>本体タッチパネルのある機種の場合は、運転中の衝撃感度と駐車監視中の衝撃感度を設定変更できます。</p> <p>他社品のSDカードを利用している場合、付属のSDカードを差し直して再試行ください。推奨のmicroSDカードはClass10・ブランド社製の32GB～128GBとの仕様となっています。</p>

故障かなと思ったら

症状	下記をご確認下さい。
LED信号ライト、または車のLEDライトが点滅に撮影される	ドライブレコーダーでLED式の信号機、LED式ライトを撮影すると、点滅を繰り返したり、消灯もしくは点灯し続ける現象が起きる場合があります。これはLED信号に限らず、LEDを使用した照明は光自体が高速で点滅している為、カメラに記録されてしまいます。
タッチパネルが操作できない	一部microSDカードの相性のせいで、タッチパネルに一時的に作動できない可能性があります。SDカードを取り外して動作を再確認して下さい。
	SDカードを抜き出しても改善できない場合、本体背面のリセットボタンを押してください。
Bluetoothで繋がらない	携帯側に接続したBluetoothデバイス履歴の消去を行い、Bluetooth機能をオン・オフにしながら、再試行ください。
Siri・Googleアシスタントの反応がしない	Wi-FiとBluetoothの接続状態を再度ご確認ください。
	Siri、Googleアシスタントが有効になっているか携帯端末の設定をご確認下さい。
Carplayが接続済ですが、途切れてしまった	Wi-FiとBluetoothの接続状態をもう一度ご確認ください。
	Wi-Fiが他のデバイスと接続された場合に、Carplayは切断される可能性があります。他の機器との接続を切断して下さい。
Android Autoが繋がらない	Androidの携帯で「Android Auto」アプリをインストールが出来ているかご確認ください。
	Android Auto接続方法に従い、Bluetoothが接続済になるかご確認ください。
	一部Android携帯は、適応できない場合があります。適応できない場合は、他の携帯端末で接続を行って下さい。
ミラーリングでも画面が立ち上がらない	Wi-FiとBluetoothの接続は説明書の指示より本機のデバイスと接続しているか確認ください。
	本機、スマートフォンの再起動を行って下さい。また、接続も再度試行して下さい。
	iPhoneのバージョン(ios17.2～17.3以上)は、Carplayの接続を一時的に停止した後、ミラーリングを利用できない場合があります。ミラーリングできるようにiPhoneの電源とPRD62の電源を直して行ってください。

故障かなと思ったら

症状	下記をご確認下さい。
ミラーリングでも画面が立ち上がらない	Wi-FiとBluetoothの接続は説明書の指示より本機のデバイスと接続しているか確認ください。
	本機、スマートフォンの再起動を行って下さい。また、接続も再度試行してください。
	iPhoneのバージョン(ios17.2～17.3以上)は、Carplayの接続を一時的に停止した後、ミラーリングを利用できない場合があります。ミラーリングできるようにiPhoneの電源とPRD62の電源を直して行ってください。
車載Bluetooth機能をオンにしても本機の音声が入力されない	本機でスマホとCarplay/Android Autoを接続しているかご確認ください。
	カーナビはBluetooth音楽機能が搭載しているかご確認ください。搭載していると、スマホでBluetoothと接続してください。
	操作参考動画： https://youtu.be/5GuH9b8k38A
FM送信機能がオンにしても本機の音声が入力されない	本機とカーナビ/カーオーディオ機器のFM周波数と一致に合致するかどうかご確認ください。
	操作参考動画： https://youtu.be/yp9gKatrtBU
車載Bluetooth機能でミラーリングの音声を車内から対応できるか	車載Bluetooth機能でミラーリングの音声を車内から対応できかねます。
	車載Bluetooth機能でCarplay/AndroidAuto機能の音声を車内のカーオーディオに転送することができます。
FM送信機能でノイズ音が伴い、音質が改善できるか	FMチャンネルを無音声のFMチャンネルに変換してください。
	一部車種のカーオーディオの相性に関する場合があります。
AUX線を接続してノイズ音が伴い、音質が改善できるか	車のスピーカーのバックグラウンドノイズに関連しています。

△ご注意

- ・症状が改善しない場合や上記以外の症状に関しては、お買い上げの販売店までご相談下さい。
- ・ご自身での修理、分解、改造は大変危険です。絶対にご遠慮下さい。